

**2010年9月 石原社長
定例記者会見概要**

9月29日午後3時より、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連、60周年企画について>

上期は、視聴率は26週終了時点で、全日帯5位、ゴールデン帯5位、プライム帯5位という大変厳しい状況が続いている。期中にテコ入れのための改編を行うなど、現場が様々な工夫や努力を重ねたことから、わずかだが視聴率も持ち直しの兆しが見えてきたのかなと感じている。こうした中、10月改編がスタートするが、今後も日々の視聴率と番組の将来性を早期に見極めて、視聴率の底上げを図っていきたいと考えている。

1951年のラジオ東京設立以来、60周年を迎える来年に向けて、様々なジャンルで記念コンテンツをお届けしていく予定だが、この下期には、橋田壽賀子さんの脚本で、草薙剛さん、仲間由紀恵さん主演の5夜連続特別ドラマ『99年の愛～JAPANESE AMERICANS～』と『2010世界バレー女子 日本大会』を放送する。『99年の愛』は99年前にアメリカへ渡った日系移民が、人種差別や戦争による逆境・苦悩を乗り越え、生き抜いていく家族の“愛の物語”を描く。充実した内容になったと聞いているし、大変楽しみにしている。皆様にもご期待いただきたいと思う。また、『世界バレー 女子日本大会』は1998年、2006年に続く3回目の日本大会の放送となる。女子チームは8月のワールドグランプリで9年ぶりにブラジルを破って勢いに乗っているそうなので、活躍に期待している。放送以外でも12月には木村拓哉さん主演の映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」が公開、今週金曜からは「ゴッホ展」も開催される。来年以降もいろいろと強力なコンテンツを準備中なのでご期待いただきたい。

<営業関連>

第2四半期のタイムセールスは、長引く景気の低迷を受けて、クライアントの間で固定費となるタイムを嫌う傾向があり苦戦している。4月改編でのレギュラースポンサーの大幅カロリーダウンもあって、前年実績を下回る見込み。一方、ローカルタイムはミニ枠を中心にセールスが比較的好調に推移し、予算をほぼ達成、前年実績を超える売上を確保できそうだ。スポットは東京地区の投下量が前年比で、第1四半期は107%、第2四半期も109%と好調に推移、当社も上期は106～7%の売上を見込んでいる。上期トータルの総収入は前年同期比で94%程度と予想している。

10月以降のネットタイムは改編作業が終了し、上期並のカロリーを維持できそうだ。単発では10-11月の「世界バレー」、11月の「60周年ドラマ」という2つの大型単発に加え、去年はなかった一社提供の単発番組もいくつか決まっているので、去年以上の売上を見込めそうだ。スポットは今後の経済動向にもよるが、ようやくGP帯の視聴率が上がってきているので、シェアを拡大して前年以上の売上を目指して頑張っていきたい。

<事業関連>

10月1日から12月20日まで、国立新美術館で、TBS60周年企画「没後120年ゴッホ展」を開催する。ゴッホの世界的コレクションを有するオランダのファン・ゴッホ美術館と、クレラー＝ミュラー美術館の全面協力を得、日本初公開作品を含め、選り抜かれた作品と関連資料等を一堂に展示する。この秋たくさんのファンを魅了する大イベントになると期待している。

8月21日(土)公開された映画「ハナミズキ」は、9月26日までの公開37日間で、動員約214万人、興行収入約26億7700万と好調。また、10月1日(金)には、二宮和也さん、柴咲コウさん主演の映画「大奥」が公開される。江戸時代、男だけが患う謎の疫病のため男子が激減、様々な事が男女逆転する世の中。一人の女性将軍に3,000人の男だけの大奥が出現するという、人気コミック原作の映画化。前売り券の販売が好調に推移しており、大変おもしろい娯楽大作に仕上がっている。

<地デジ関連>

片山総務大臣が就任されたが、地デジについては「従来どおり粛々と進めていく」とおっしゃっているので、完全移行へ向け、政府、関連各業界と共に、周知徹底を図って頑張っていきたいと思っている。JEITA(日本電子情報技術産業協会)によれば8月末時点での地デジ受信機の出荷台数は8,502万台で、目標数値をおよそ600万台上回っている。結果は11月に公表予定だが、世帯普及率については総務省が今月、地デジ浸透度調査を実施しており、目標の91.2%を超えるかどうかを注目している。TBSテレビは在京の民放キー局やNHKと共に今月6日からアナログ放送のレターボックス黒味部分にスーパーを常時表示している。内容は集合住宅にお住まいの方向けのメッセージなど具体的なものとなっている。また、11月はTBSが地デジ周知の強化月間担当局なので、7月に発足した社内横断的組織「地デジ完全移行推進プロジェクト」を中心に、世界バレーほか、各番組を通じて視聴者の皆様に地デジ対応をお願いしていく予定。

<ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

8月個人聴取率調査結果が発表され、TBSラジオは1.5%で、55期連続個人聴取率首位となった。『大沢悠里のゆうゆうワイド』、『安住紳一郎の日曜天国』など人気番組が堅調に推移したこと、プロ野球ナイター6試合の中継が、好結果を収めたことが要因。

10月編成については、平日夜に大人の為の音楽番組『Kakiiin』を編成し、他の新番組の紹介などを行う特別番組を10月2日に放送、TBSテレビ「オールスター感謝祭」と連動し、赤坂5丁目マラソンをサイマル放送する。営業的には、8月はタイムが好調だったがスポットは厳しく、9月も同様。10月についてもスポットが苦戦。

上期はレーティング、売上げともまずまずの結果となったものの、下期は営業的に予断を許さない状況であり、事業部門での課題、来年4月編成の表案策定、セットインユース向上などに取り組む。

以上